

# ハンス・ロット (1858~1884) 生誕151年

今回は、ハンス・ロットの交響曲を聴いてみよう。

ハンス・ロット?と思った方、ご安心ください。多分、相当にクラシック音楽が好きな方でも、ロットを知らない方が多いと思います。それもそのはず、1989年に「再」発見されるまで、完全に忘れ去られていた作曲家だったのですから。

ハンス・ロットは、1958年の生まれ。ウィーン音大でブルックナーに師事しました。師のブルックナーや、同級生のマーラーから、その才能を大きく期待されていたのですが(一説には)、尊敬していたブラームスに酷評されたのを苦に発狂し、失意のまま25歳の若さでこの世を去りました。

1880年に完成した交響曲は、そのまま演奏されることもなく(第1楽章のみ、作曲コンクールに提出・演奏されている)、オーストリア国立図書館に眠っていました。

聴いて頂ければお判りの通り、ブルックナーの影響を強く受けていて、マーラーを思わせる感じもあり……、悪い言い方をすれば、一見、ブルックナーもどきとか、マーラーのパクリとか思われるかも知れません。でもロットが交響曲を完成させた1880年という年にブルックナーは未だ交響曲第6番を書いていた頃、マーラーに至っては交響曲第1番(「巨人」は1884~1888年の作品)、すら書いていませんでした。

ブルックナーやマーラーが好きな方であれば、無条件に楽しんで頂けると思います。未だそうで無い方にも、世の中にはこんな隠れた銘曲があるのだと知って頂ければ幸いです。

ローゼンマン：映画「エデンの東」(1954年)主題曲

ロット：交響曲 第1楽章冒頭  
セヴァスチャン・ヴァイグレ指揮ミュンヘン放送交響楽団

ロット：交響曲 第2楽章冒頭  
アーヴィン・ホルン(オルガン)

ロット：交響曲 第3楽章 レントラー  
セヴァスチャン・ヴァイグレ指揮ミュンヘン放送交響楽団

ロット：交響曲 第3楽章 カノン  
キャサリン・リュックヴァルト指揮マインツ歌劇場フィルハーモニー管弦楽団

ロット：交響曲 第3楽章 カノン  
レイフ・セーゲルスタム指揮ノールショピング管弦楽団

ブラームス：交響曲第1番(1876~1878) 第4楽章抜粋  
クルト・ザンデルリンク指揮ベルリン交響楽団

ロット：交響曲 第4楽章後半  
デニス・ラッセル・デイヴィス指揮ウィーン放送交響楽団

ロット：交響曲 第3楽章  
ジャック・ファン・ステーン指揮オランダ放送フィルハーモニー管弦楽団

ブルックナー：交響曲第2番から  
カルロ・マリア・ジュリーニ/ウィーン交響楽団

マーラー：交響曲第7番から  
ディーン・ディクソン/フランクフルト放送交響楽団